

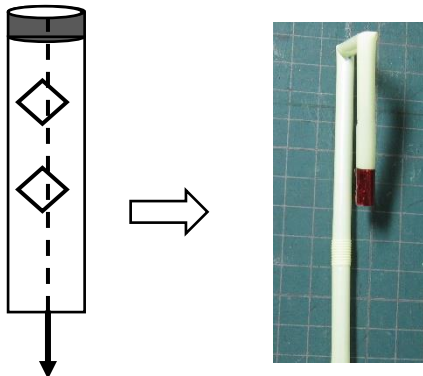
関節屈伸ストロー人形をつくろう

青森・野呂茂樹

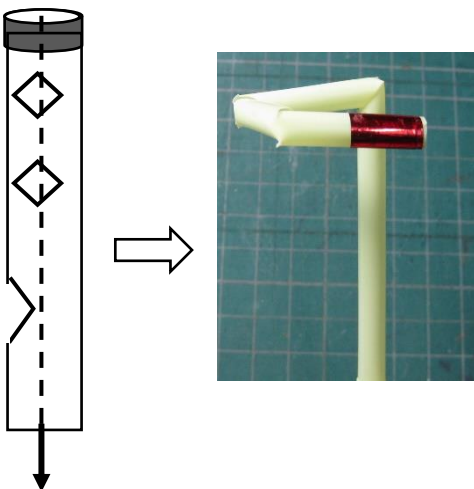
切り込みを入れたストローの先に糸を固定し、ストローに糸を通し、その端を引っ張ると切り込みが関節となってストローが曲がりゆるめると伸びる、広島・土肥健二さんの考案のしかけです。

【しかけの原理】

(しかけ1)



(しかけ2)



【切り込みの入れ方】

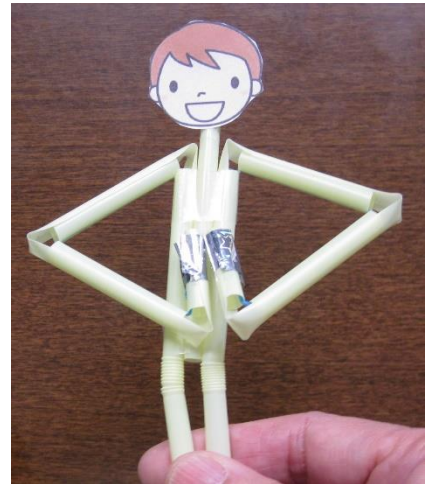
- (1)先の鋭いはさみでV型にカットする。
- (2)100円ショップの1穴パンチであける(便利です)。
- (3)縦に半分に切断したストロー内に両面テープを貼った接続具で短く切ったストロー同士を隙間をあけて連結する(科学読物研究会:伊沢尚子さんのアイデア)。

なお、糸をストロー端に固定するときはストローの先端に5mmほど縦に切れ目を入れそれに糸を挟みテープを巻くとしっかり固定できます。

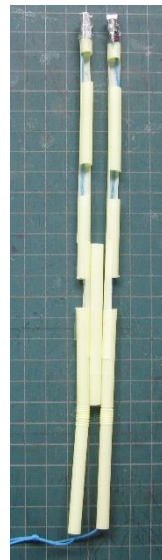


【作例】

(しかけ1) + 切り込み (3)

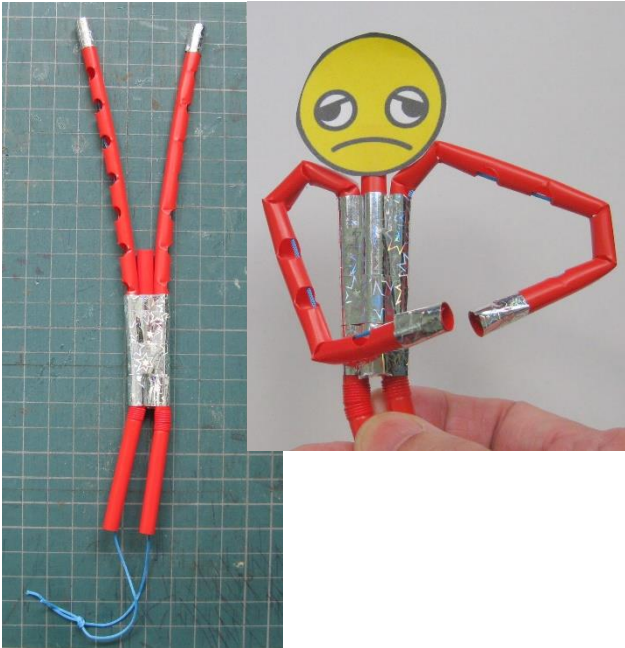


(しかけ2) + 切り込み (3)



(しかけ1) + 切り込み (2)

関節の数も増やしました。



【参考文献／HP】

・土肥健二「ストローでつくる動く人形」(『のらねこ先生の科学でいこう』岐阜物理サークル編著 (日本評論社、2005))

・「TORAFFIC PORICE」

<http://www.arvindguptatoys.com/toys/trafficpolice.html>